

ただいま卒業証書を授与致しました148名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。本日はPTA会長渡辺英治様、部活動後援会会長岩井一好様のご臨席を賜り、第74回卒業証書授与式を挙行できますこと、大変嬉しく思っております。

保護者の皆さま、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。立派に成長したお子様の姿をご覧になり、さぞ喜びもひとしおのこととご推察いたします。入学時、保護者の皆様は、大きな重い鞆と部活動の道具を持ち、バス停まで向かう我が子を、あるいは自転車で雨の中、学校へ向かうわが子の後姿を、不安な思いで見送ったことでしょう。「がんばれ」とそっと声をかけたはずです。子どもが幸せなこと、何かに夢中であってくれること、親の願いはただそれだけです。そして、お子様たちは保護者のその願いを受けて今日、立派に大人の階段を上り始めようとしています。

近くの中学校ではなく遠い本校を選んできた皆さん。しかし、その距離の分皆さんはたくましくなりました。体力も気力も精神力もそして忍耐力も日本で一番の中学生に成長したと私は思っています。

皆さんが入学したのは2020年4月です。コロナが世界中を襲い、世界はパニック状態となり、皆さんはステイホームを余儀なくされました。入学式は全員マスク姿。教室でオンラインで行われました。授業スタートは6月。マスク姿の仲間たち、果たして友達ができるのかという不安もあったでしょう。

私は入学式の式辞で、皆さんにこう話しました。「2020年のスタートは皆さんにとって、卒業式や入学式が平常通り開催されずに、悲しく残念な思い出、悔しい思い出となったかもしれません。しかし、3年後の2023年3月にはあの時はあのような形の卒業式、入学式だったけれども、今となっては良い思い出、懐かしい思い出ですと言えるような実り多い感動に満ちた『人生で一番短い3年間』にしようではありませんか。」と。

今日は、皆さんのゴールの日です。皆さんにとってこの3年間は、「人生で一番短い3年間」だったでしょうか。青春にゆとりはいらない、青春って忙しいと感じ「夢中って無敵」な日々を送ってくれたと私は信じています。例え、人生で一番短く感じた中学生生活であっても、皆さんにはそれぞれ1000日に及ぶドラマがあったはずです。試合に敗れ悔しくて人目もはばからず泣いた日、スクールバスの中での朝学の勉強、自分に自信を無くし部活に行きたくないと思んだ日々、青空のもとクラスが心ひとつになって飛んだ大縄跳び、些細なことで両親と口論となってしまった夜、友と語り合った放課後の教室、修学旅行の夜。

みなさんの胸に去来する中学生生活のシーンはなんでしょうか。一人ひとりがかけがえのない青春時代を駆け抜けてきた1000日の日々。それは喜怒哀楽に彩られた眩しく輝く青春の日々であったはずです。竹は節目があるから成長します。まさに、皆さんにとって悩み、苦しむ葛藤の瞬間こそが節目であった

と思います。節目の多い人生は成長した証であるということです。今後とも節目を大切に日々を過ごしてください。

これからは、ウイズコロナ、アフターコロナの時代を見据えて皆さんは活動を始めなければなりません。私たちの日常を取り戻し、もっとより良いものにしていくのです。

コロナによって分断された人々の心、マスクに象徴される人離れ、人と関わることを拒否する姿勢。コミュニケーション不足。本当の自分を見せることに臆病になってしまった時代。そんな時代を変えていかなければなりません。それができるのは真っ先にコロナの洗礼を浴びて青春時代を生きてきた皆さんしかいない、それこそが皆さんに与えられた使命であると思うのです。どうか高校生となる皆さんが中心となって内向きになってしまった社会を人と人とのつながりの中で成り立つ本来の社会に変えていってください。

さて、大多数の生徒が進む静岡翔洋高校ですが、静岡県の私学の60%以上、公立高校の50%以上の学校が定員割れをおこす少子化の中、今年も477名の入学者を迎え11クラスでのスタートとなります。多くの公立中学出身の生徒と競っていかねばならない皆さんですが、恐れることはありません。皆さんの先輩達は立派に勉強面でも部活動の面でも静岡翔洋高校の中心となっています。中等部出身者としてのプライドを持ち、どうか学校を引っ張っていってください。そして、他校へ進む生徒の皆さんも、文武両面

にわたって活躍し、充実した悔いのない忙しい青春の日々を送ってほしいと思います。

静岡翔洋からは永遠の姿をとどめる美しい富士が見えます。永遠とわにそびえ立つ富士のように皆さんの仲間と培ってきた友情もいつまでも続くことでしょう。どうか翔洋生らしく雄々しく、自らの抱く希望に向かって歩みを進めてください。希望こそ生きる原動力です。素晴らしい人生の「門出」となることを祈念致しまして、「告辞」といたします。卒業おめでとう。